

企業年金セミナー

(DC法改正によるポータビリティ拡充の実務)

通算企業年金の財政及び資産運用の現況

2018年1月22日

企業年金連合会
年金運用部

通算企業年金の概要

◆ 制度開始

- 2005年10月から

◆ 対象

- 厚生年金基金

- 脱退一時金相当額(中脱者)、残余財産分配金(解散基金加入員等)

- 確定給付企業年金

- 脱退一時金相当額(中脱者)、残余財産分配金(終了制度加入者等)

◆ 区分経理(運用は合算して運用)

- 厚生年金基金加算年金経理
- 確定給付企業年金経理

◆ 予定利率

年度	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	
45歳未満										2.25%	→	→	1.50%	→
45歳以上55歳未満										2.00%	→	→	1.25%	→
55歳以上65歳未満										1.75%	→	→	1.00%	→
65歳以上										1.50%	→	→	0.50%	→

◆保証期間付終身年金

- 保証期間：年金受取開始年齢から満80歳まで。

◆選択一時金

- 原則、年金ですが、病気や災害など資金を必要とする場合は選択一時金が可能。
- 年金受取開始年齢(原則65歳)時点、または年金受給後であっても保証期間内であれば、残りの保証期間に応じた選択一時金を受取り可能。

◆死亡一時金

- 年金受給前または受給後、保証期間内に死亡したときは、残りの保証期間に応じた死亡一時金を遺族に支払。

◆非課税で企業年金連合会へ移換

- 年金受取時は公的年金等に係る雑所得として取り扱われる。

◆他の企業年金制度等に年金原資を移換可能

- 転職などで他の企業年金制度に再加入した場合などは、年金原資を他の企業年金制度等に移換できる。

財政状況 (2016年度末現在)

	純資産	責任準備金	余剰金	積立水準
通算企業年金	3,004億円	2,715億円	289億円	110.7%
厚生年金基金加算年金経理	1,184億円	1,092億円	92億円	108.4%
確定給付企業年金経理	1,820億円	1,622億円	197億円	112.2%

- ◆ 申出件数(16年度):41,423件
- ◆ 受給者数:64,104人
- ◆ 受換金(16年度):216億円
- ◆ 給付費(16年度): 72億円

通算企業年金は、創設された2005年10月から2014年3月まで基本年金等の資産と合算して運用してきたが、単独で効率的な運用が可能な資産規模となった2014年度から、基本年金等の資産と分離し、負債特性を考慮した別のポートフォリオとして運用している。

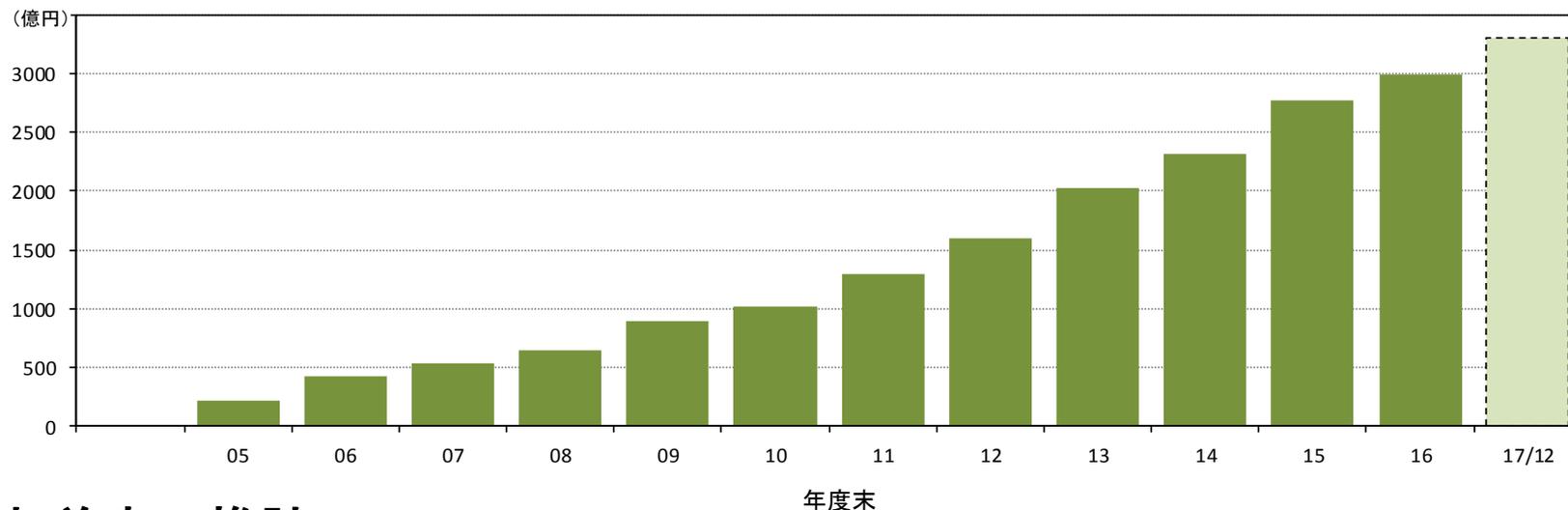
◆政策アセットミックス

- 債券80%：グローバル株式20%
- ベンチマーク
 - 債券 :ブルームバーグ・バークレイズ日本総合インデックス
 - グローバル株式 :MSCI(ACWI、円換算・配当再投資・Net)
- 政策アセットミックスからの乖離許容範囲：±5%
- ポートフォリオの期待リターン、リスク(年率)
 - リターン :2.6% (債券1.5%、グローバル株式7.0%)
 - リスク :5.0%

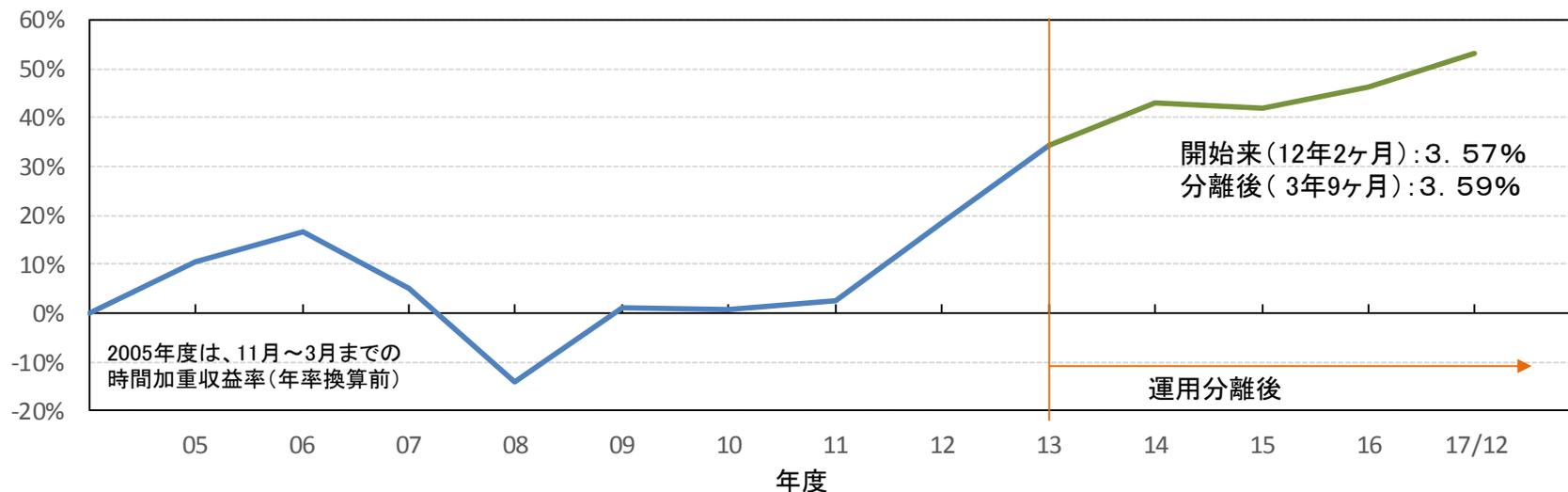
□投資対象

- 主な投資対象：国内外の債券と国内外の株式
- 債券の代替運用
 - 絶対リターン戦略：ヘッジファンド、マルチアセット
 - インカム重視戦略：不動産、インフラストラクチャー、安定的インカム投資
 - 外国債券及び債券代替運用に伴う外貨の許容範囲は、債券全体の20%

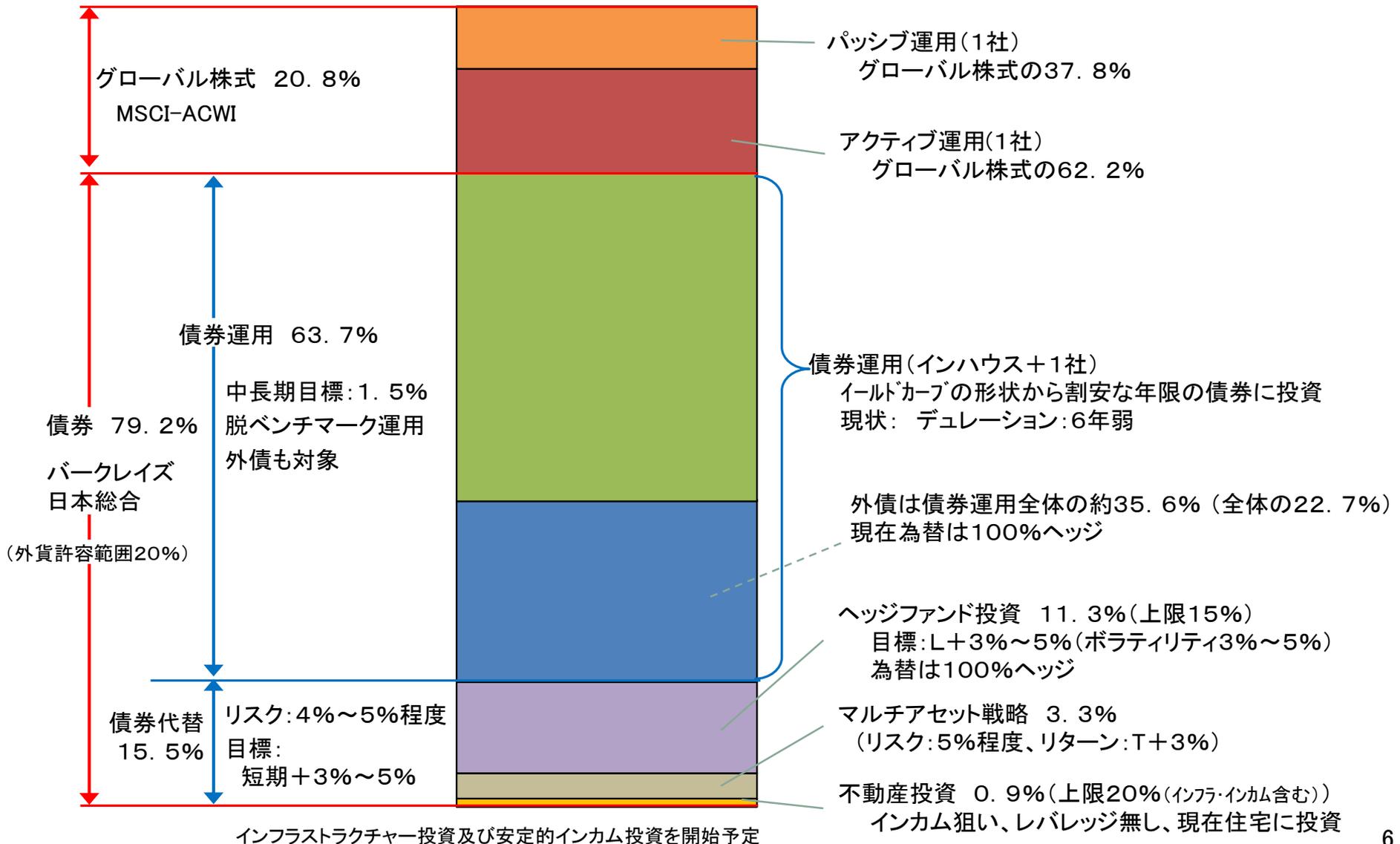
資産残高の推計 (固定資産額)



収益率の推計

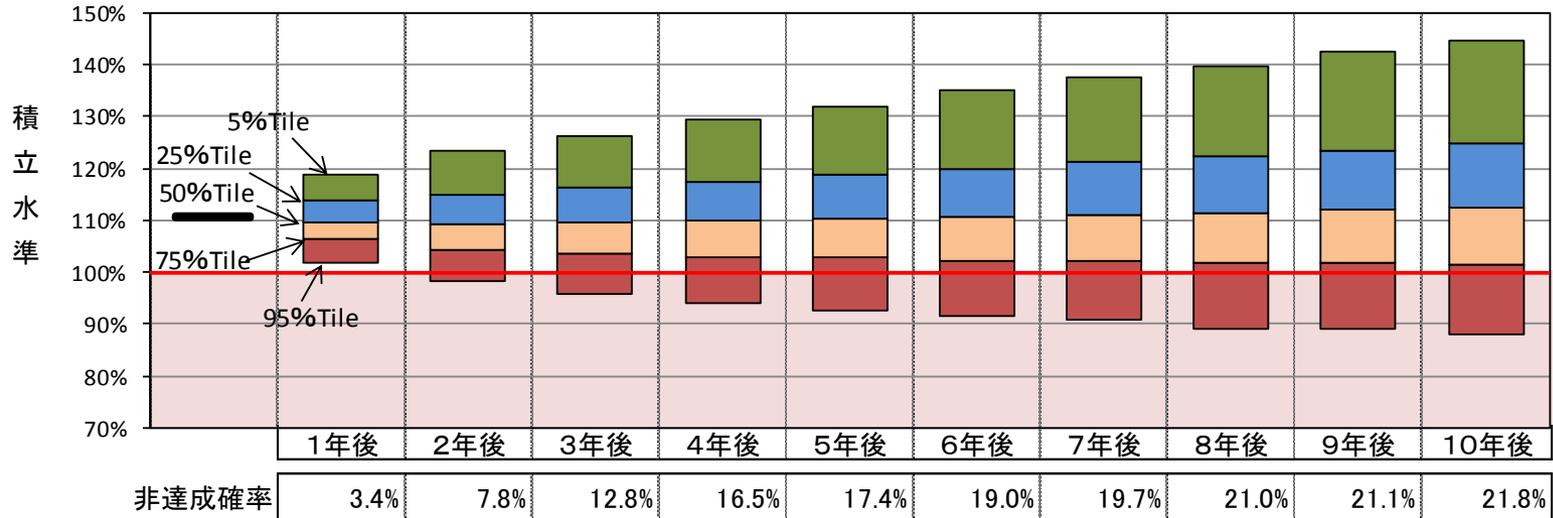


通算企業年金ポートフォリオ (2017年12月末)

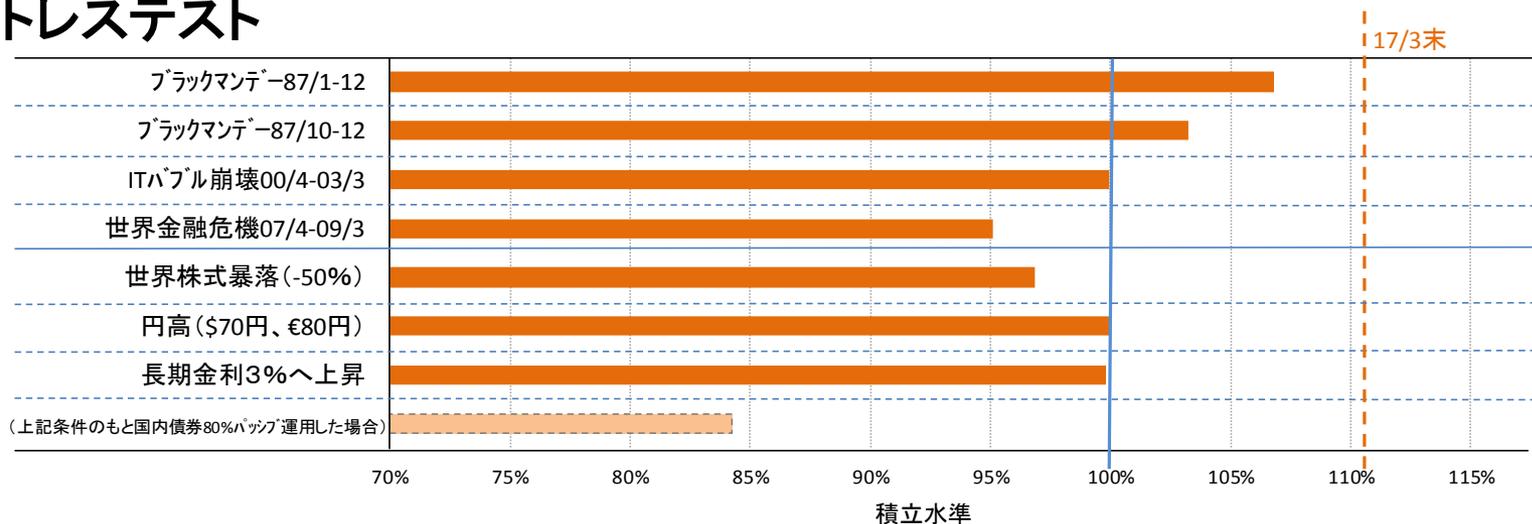


ALM分析 (2017年3月末時点)

積立水準の将来推計



ストレステスト



(参考) 共同運用事業

- ◆ 厚生年金基金及び確定給付企業年金からの拠出金を原資として、老齢年金給付等について一定額が確保されるよう、年金給付等積立金又は積立金の額を付加する事業
 - 連合会が管理運用している通算企業年金の資産と合算して、通算企業年金の運用方針に基づき運用
 - 事業加入年金基金等ごとに信託契約に基づく投資口を設定し、資産の分別管理と資産の保全を図る
 - 共同運用事業口への投資: ファンド・オブ・ファンズ形式による基準価格制合同口
 - 投資口に係る信託報酬: 0.100%~0.007%(金額に応じた逡減料率)
- ◆ 事業状況(2017年12月末現在)
 - 事業開始: 2016年10月
 - 加入件数: 5件
 - 資産残高: 73億円
 - 運用実績: 8.01%(累積(15ヶ月間)) 6.36%(年率)
- ◆ 詳しくは連合会ホームページをご覧ください。
 - <https://www.pfa.or.jp/activity/kyodo-unyo/index.html>

(参考) 連合会が管理運用する2つのポートフォリオ

	通算企業年金	基本年金等 (閉鎖型年金)
資産残高 (固定資産ベース)	2,986億円	11兆4,158億円
運用開始	2005年10月 (2014年3月まで基本年金等と合算して運用)	1967年2月
債務構造	平均予定利率約2.2%	代行債務 77% 加算債務の平均予定利率 約4.6%
積立水準	110.7%	110.8%
政策アセットミックス	債券 80% グローバル株式 20%	積立水準 ~105% ~110% 110%~ 内外債券(内80%:外20%) 50% 55% 60% 内外株式(内40%:外60%) 50% 45% 40%
期待リターン 想定リスク	期待リターン 2.6% 想定リスク 5.0%	積立水準 ~105% ~110% 110%~ 期待リターン 4.1% 3.8% 3.6% 想定リスク 10.4% 9.5% 8.6%
資産管理 (リバランス)	静的管理 ・基準値をできるだけ維持するリバランス	○動的管理:積立水準に応じて資産配分を変更 ・ポートフォリオ・オーバーレイによるリバランス ○二元化ポートフォリオ管理 ・代行債務ヘッジ・ポートフォリオ ・加算債務対応ポートフォリオ
ファンド数	9ファンド	99ファンド
インハウス運用	国内債券(外国債券、為替オーバーレイ) (ポートフォリオ全体の約58%)	国内債券、外国債券、新興国債券、為替オーバーレイ 国内株式(パッシブ) (ポートフォリオ全体の約37%)
投資対象資産	国内債券 外国債券 グローバル株式(新興国株式含む) ヘッジファンド(上限15%) マルチアセット 不動産投資 インフラストラクチャー投資 } (上限20%) 安定的インカム投資 為替オーバーレイ	国内債券 外国債券(新興国債券含む) 国内株式 グローバル株式(新興国株式含む) プライベート・エクイティ投資(2%目途) ヘッジファンド(4%目途) 不動産投資 インフラストラクチャー投資 } (4%目途) 安定的インカム投資 為替オーバーレイ

* 2017/3/31現在。2013年度まで合算して運用を行ってきたが、2014年度に分離して運用を開始。

(参考) 基本年金等ポートフォリオのパフォーマンス

